

(1)平成30年度 事業報告について

1 事業の内容

○こだかさ障害者支援センター（就労継続支援A・B）

(1) 開所（就労）日数 261日 （第2・4土曜日営業日）

- ・木工科 8:30~17:00
- ・軽作業/洋裁科 9:00~16:00
- ・理美容科/鍼マッサージ ㊟8:30~15:30 ㊠10:00~17:00

(2) 利用者数

(31/3/31 現在 単位：人)

区分(定員)	木工科	洋裁科	理容科	美容科	鍼灸マッサージ	計(現員)
A(10)	2	—	1	1	—	4
B(44)	29	5	1	2	7	44
計(54)	31	5	2	3	7	48

(3) 平均月額工賃（秋/春の奨励金含む）

(単位：人・円)

区分	3万未満	3~10万	10万以上	最高額	最低額	月平均	
年額/12月							
A型	—	—	4	215,689	109,212	159,387	
B型	木工科	8(1)	18	4	145,727	7,496	50,987
	洋裁科	5	—	—	27,000	2,070	13,655
	理容科	—	1	—	65,863	—	—
	美容科	—	2	—	83,943	74,395	79,169
	鍼灸マッサージ	1	7(1)	—	97,862	29,301	59,193
	計	14(1)	28(1)	8	—	—	47,134 (46,815)

()年度中に転出した利用者数再掲 月平均の下段の () は前年度

*平成29年度 高知県内就労継続支援(A型・B型)事業所の平均月額工賃

A型24施設86,034円、B型98施設19,694円

(4) 売上/工賃内訳

(単位：千円)

区分	木工科	洋裁科	鍼灸マッサージ	理容科	美容科	喫茶	合計
A売上	12,619	—	—	1,945	1,757	—	16,321
B売上	49,697	1,854	5,760	1,035	969	458	59,773
合計	62,316	1,854	5,760	2,980	2,726	458	76,094
A賃金	5,024	—	—	1,311	1,316	—	7,651
B工賃	18,198	819	4,989	790	1,699	200	26,695
法定福利費	826	—	—	216	213	—	1,255
※作業員賃金	3,352	—	—	—	—	—	3,352
合計	27,400	819	4,989	2,317	3,228	200	38,953
人件費の割合(%)	43.3	44.1	86.6	77.7	118.4	43.6	51.1

(5) 行事等活動内容

行事等

5 / 20・27	第 18 回県障害者スポーツ大会参加 (ホーリング・春野運動公園)
8/13～19	夏季休暇
9/18～26	個別支援会議
10/1	共同募金開始式
10/25	利用者検診 (高知検診クリニック)
11/6～15	希望者インフルエンザ予防接種 (センター 29 人、個人 13 人、未接種 6 人)
10/27	創立 50 周年祝賀会(利用者・家族・役職員他)
12/8	盲学校と合同の地域交流会/家族会の開催
12/28	仕事納め『創立 50 周年祝賀会 DVD を見て楽しむ』
1/29	『青森りんご』の贈呈式 東部健康福祉センター
2/18～23	個別支援会議
3/5	消防訓練(日中)
3/28	消防訓練(夜間)

研修・視察等

5/14	高知県美容生活衛生同業組合	1 名
11/17	NPO 日本/デンマーク生活研究所高知研修	2 名
11/22	高知市社協「社会福祉法人連絡協議会/公益的な取組」	3 名
2/3	聴覚障害者を対象とした防災学習	3 名
2/15	高知市社協「社会福祉法人連絡協議会/公益的な取組」	3 名
2/27	働き方改革関連に関する説明会	1 名

理事・評議員会等

5/26	法人監査 小高坂更生センター3 階 研修室②③
6 / 7	第 1 回 理事会 小高坂更生センター3 階研修室②③
6/27	第 1 回 評議員会 小高坂更生センター3 階研修室②③
3/27	第 2 回 理事会 小高坂更生センター3 階研修室②③

高知市指導監査

11/16、12/21

加盟団体の会議

10/4～5	日本セルフセンター木工部会 北海道旭川市	1 名
11/19～20	中四国社会就労センター協議会職員研修会	2 名
1/15	高知県社会福祉法人経営者協議会第 3 回理事会	1 名
3/7	高知県社会福祉法人経営者協議会第 4 回理事会	1 名
1/11～12	県身体障害者(児)施設協会・社会就労センター協議会合同研修(作業部会)	4 名
1/30	高知県身体障害者(児)施設協会・社会就労センター協議 施設長セミナー	1 名

販売活動

4/8	高知競輪場（親子鳴子の組立て教室）
6/9	香南市中央公民館「よさこい鳴子のルーツを学ぼう+鳴子づくり教室」20名
6/14～19	高知大丸5階展示販売会開催（木工製品フェア出品）
8/4～5	朝霞市民祭「彩夏祭」出店よさこいグッズ販売・組立等（埼玉県）
8/10～11	市民憲章 鳴子の手作りコーナー（追手前高校）
8/12	よさこい祭り よさこい大賞の贈呈（中央公園）
8/25～26	原宿スーパーよさこい出店よさこいグッズ販売・組立教室等（東京）
10/20～21	第1回もくもくエコランド 木工製品販売、県木材普及推進協会（中央公園）
10/20～21	大阪ゑえじゃないか祭り 出店よさこいグッズの販売（泉佐野市）
1/29～30	WOODコレクション・モコレ2019 商談（県と木材協会補助）東京ビックサイト

マスコミ報道

7/9	こうちeye 鳴子づくり RKC高知放送
7/27	高知新聞『宿題に木工はいかが/組立キット等販売』
8/7	NHK こうちいちばん『よさこい本番前』
9/15・10/15	KUTV 障害者雇用『働くことへの意欲や生きがい・・・』美容・軽作業
2/16	福祉3施設『龍馬マラソン応援準備も急ピッチ・大会メダルを作る人』
2/25	福祉新聞『高知県よさこい文化伝承・400チームから鳴子注文』 フジフィルム化粧品機関紙「アスタリフト」高知県特集鳴子工房の紹介

実習・見学等

5/24	高知ろう学校小学部 聴覚障害者支援事業所見学インクルー6年2名/教員2名
5/24	日高養護学校みかづき分校 職場見学 高1B組8名/教員3名
5/29	日高養護学校みかづき分校 職場見学 高1A組8名/教員3名
6/11～22	高知市立特別支援学校 職場実習 高2女1名
7/24	高知盲学校 進路学習ため教職員見学 10名
7/27	高知市立特別支援学校 小中高新任教職員見学 4名
9/13	高知市立特別支援学校PTA
10/15～26	日高養護学校初月分校 職場実習 高1
10/2～12	山田養護学校 職場実習 高3、男1名
11/20	高知市立特別支援学校 施設参観 PTA40名
11/26	市立小高坂小学校2年生グループ別「私たちの町の店や施設」6名

その他

6/28	県立盲学校第1回開かれた学校づくり推進委員会	1名
11/9	県立盲学校文化発表会	1名
2/3	県立盲学校創立90周年記念式典	1名
2/15	県立盲学校第2回開かれた学校づくり推進委員会	1名
3/1	県立盲学校高等部本科卒業式	1名
3/15	県立盲学校幼稚部・中学部卒業式	1名

(6) 課題への対応等

①全職員参加の個別支援会議において議論を交わし、共通認識のもとに、利用者の健康や作業状況、人間関係等を含めその支援に取り組むことができた。

また、連続して病気等で休む一人暮らしの利用者に対して、通院支援とともに家庭訪問などきめ細かい支援に努めている。

②社会福祉法人制度の制度改革への対応

地域における公益的な取り組みについては、高知市社会福祉法人連絡協議会に加入し、複数の社会福祉法人連携による具体的な取組みを進めている。

③利用者・職員が目標とするべき理念である「こだかさの基本方針」の制定及び6S運動（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ、スマイル）を分かりやすい言葉で周知し、意識改革に努め、働きやすい職場づくりに取り組んでいきたい。

特に木工部については、今後、

- ・鳴子の生産計画の構築、目標値の設定（売上数、生産数）
- ・作業工程の見える化の実行 各作業の生産、在庫数の把握
- ・受注状況の見える化の実行 木工会、リーダー会における受注状況の把握
- ・材料、消耗品、備品の細部にわたる把握（鳴子用と木工製品用のさび分け）
- ・木工製品の受注の強化
- ・機械等の計画的な更新、購入
- ・軽作業の作業量の確保など

企業意識の向上に努め、工賃アップにつなげていきたい。

また、繁忙期への対応として一般パートを数名雇用しているが、百歳体操を通じたご縁で、地域の方々から作業の応援の申出があり、多くの方々の支援をいただいたことは、大きな財産となっている。

取引のある業者とともに、この「こだかさ応援団」とも言うべきネットワークを維持拡大するとともに、地域の社会貢献にもより一層努めていきたい。

④福祉サービス等報酬改定については、改定に伴う影響よりも利用者数が重要であり、特にA型利用者については、ハローワークを通じて募集し、数名の方と面接したが雇用には至っていない状況であり、引き続き求人票を掲載し、その確保に努めるが、熟練利用者の退所が現実のものになっており、後継者の確保に危機感を持って臨む必要がある。

⑤障害者施設の障害者優先調達法に基づく共同受注については、昨年度に引き続き、「高知龍馬マラソン2019（2/17）」の記念品メダルを4施設が受注（メダル数：1,200個、委託料5,650千円）するとともに、ファンラン（車椅子利用者及び18歳未満のランナー）の記念メダル300個を寄付した。来年度も引き続き、受注できるよう取り組む。

⑥南海地震への備えとして、法人としては本館のガラス飛散防止フィルム貼付工事、くすのき寮の耐震補強工事、ガラス飛散防止フィルム貼付工事を実施し、ハード面での対応すべき工事はひとまず終えたと考えている。

今後、くすのき寮のブロック塀（簡易検査の実施による安全点検では心配ないとされている。）の改修工事、外壁改修工事に取り組むこととしている。

《売上推移》

1	木工科	(合計)	(鳴子)	(木工製品)	(軽作業)
	23年度	40,178千円	(24,592)	(15,151)	(435)
	24年度	40,710千円	(27,289)	(12,893)	(528)
	25年度	50,300千円	(34,442)	(15,067)	(791)
	26年度	47,734千円	(26,761)	(20,095)	(878)
	27年度	60,197千円	(36,188)	(21,910)	(2,099)
	28年度	63,005千円	(36,602)	(24,576)	(1,827)
	29年度	61,007千円	(34,436)	(24,185)	(2,386)
	30年度	62,316千円	(35,577)	(24,772)	(1,966)
2	理美容科	(合計)	(理容科)	(美容科)	
	23年度	5,502千円	(2,892)	(2,610)	
	24年度	5,983千円	(3,172)	(2,811)	
	25年度	5,732千円	(3,143)	(2,589)	
	26年度	5,862千円	(3,186)	(2,676)	
	27年度	6,297千円	(3,221)	(3,076)	*3,472件
	28年度	6,286千円	(3,204)	(3,082)	*3,459件
	29年度	6,043千円	(2,980)	(3,063)	*3,375件
	30年度	5,706千円	(2,980)	(2,726)	*3,366件
3	洋裁科				
	23年度	2,281千円			
	24年度	1,767千円			
	25年度	2,237千円			
	26年度	1,888千円			
	27年度	1,869千円			
	28年度	1,797千円			
	29年度	1,673千円			
	30年度	1,854千円			
4	はり灸マッサージ科				
	(A型利用者3名、B型利用者3名⇒29年度から全員B型へ移行)				
	23年度	5,974千円	(内、はり灸 994円)		*2,996件
	24年度	6,439千円	(内、はり灸 991円)		*3,197件
	25年度	6,139千円	(内、はり灸 1,173円)		*3,031件
	26年度	5,386千円	(内、はり灸 890円)		*2,670件
	27年度	5,614千円	(内、はり灸 842円)		*2,807件
	28年度	5,460千円	(内、はり灸 759円)		*2,753件
	29年度	5,670千円	(内、はり灸 706円)		*2,865件
	30年度	5,759千円	(内、はり灸 699円)		*2,912件

○くすのき寮（グループホーム）

(1) 開所日数 365日

(2) 利用者数 (31/3/31)

階 (定員)	世話人	利用者
1階 (5)		5
2階 (10)		9
3階 (5)		4
計 (20)	4	18

(3) 利用者の年齢及び帰省の状況 (家族との連携)

利用者の年齢				帰省の状況 (29年度中)			
40歳未満	40歳台	50歳台	60歳台	なし	～10日	～30日	50日以上
1名	3名	7名	7名	8名	3名	2名	5名

(4) 1人当たりの利用料月額 (30日) (単位:円)

区分	家賃月額 25,000 市町村 10,000 補助	光熱水費 1日 400	食費 3食 680 180/250/250	合計 (作業日の昼食は、 就労事業で請求)
利用料	(自己負担) 15,000	12,000	20,400	47,400
3月の状況	最高 (43,980)	最低 (30,050)	平均 (38,463)	

(5) 行事等活動内容

行事等

5月27日	障害者スポーツ大会
8月上旬	高知市納涼花火大会の県庁屋上見物会の申込み支援及び本館3階での見物会
9/12	1階の非常灯の交換工事 (LED)
10月～11月	耐震改修工事
10月中旬	高知県身体障害者大運動会 (申込み支援)
10月27日	小高坂更生センター創立50周年記念祝賀会
11/2	利用者検診
11月中旬	希望者インフルエンザ予防接種
11/17、11/19	寮内大掃除、ワックス掛け
11/20～24	ガラス飛散防止フィルム貼付工事
11月～12月	屋上の防水工事
12/22	冬至のゆず湯 (1階大浴場)
1/1	新年会

3/5 日中消防訓練（避難・通報・消火）本館/くすのき寮合同
 3/28 夜間消防訓練（避難・通報・消火）の自主訓練
 毎月第2木曜日 給食会及びくすのき寮定例職員会
 2・5・8・11 利用者誕生会（年4回）

研修等

10/3	高知市保健所・施設内感染対策研修会	2名
11/16	高知市指導監査課による実施指導	8名
1/30	高知県身体障害者（児）施設協会・生活部会研修会	1名
2/3	聴覚障害者を対象とした防災学習会	2名

見学

7/24	県立盲学校の職員・保護者	10名
11/20	高知市特別支援学校PTA	約40名
11/26	Tさん/父親、病院の相談員	3名
12/25～27	Tさん体験入所	1名
3/13	Nさん/県立盲学校の職員	4名

（6）課題への対応等

- ①くすのき寮が作成する個別支援計画と併せ、相談支援事業所が利用者の総合的なプランである「サービス等利用計画」の作成に対して、コミュニケーション保障とともに適切な助言、補足説明などを行い一人ひとりに応じた支援を行った。
- ②健康増進のため、早期の通院促進、通院の予約・送迎・同行・手話通訳の依頼・衛生管理、服薬管理・血圧の測定・記録、治療のための日常的なケア、爪切り等の衛生面での対応などきめ細かい支援に努めた。
- ③近年、自転車事故が多発し高額の損害賠償を命じた判決もあっている。このため、自転車を使用している利用者に対して、対人賠償付き傷害保険の加入継続の支援をした。
- ④南海地震に備えて、10月から11月に耐震補強工事及びガラス飛散防止フィルム貼付工事を実施した。
- ⑤風水害に備えて、11月から12月に屋上の防水工事を実施した。

○聴覚障害者情報センター

(1) 開館日数 343日 (休館日 12月29日～1月4日、祝日：合計22日)

開館時間

利用時間	月～金	土・日
相談・情報提供コーナー	9～17時	9～17時
ビデオライブラリー	9～21時	9～17時
研修室の貸室	9～21時	9～17時

(2) 事業実績

① 県委託事業

ア 手話通訳者養成研修

手話通訳者養成講座修了者 通訳Ⅰ 高知市/昼・夜 15名
 黒潮町 6名
 中芸・安芸市 6名
 通訳Ⅱ 高知市/昼・夜 15名
 室戸市 4名
 四万十市、四万十町 7名
 通訳Ⅲ 高知市 8名

登録手話通訳者研修 6回 防災学習、通訳技術、事例研究、
 県外講師による実技

* 県登録手話通訳者 29年度(101名) ⇒ 30年度(103名)

手話通訳者全国統一試験 合格者0名/受験者6名

イ 字幕入りビデオライブラリー事業

登録者(団体含む) 199名(個人171名、団体28団体)

貸出数 340本(ビデオ0本、DVD340本)

移動ライブラリー 実施なし

ウ 聴覚障害者向け生活支援事業

難聴者・中途失聴者向け手話教室 土曜日各5回、延べ人数32名

相談支援 237件 生活支援46回サロンの集まり：毎週木曜日)

② 市町村委託事業

高知市手話奉仕員養成講座 修了者 入門編 36名 基礎編 20名
 3市(南国)、香美、香南市) 手話奉仕員養成講座 修了者 基礎編 20名
 安芸市手話奉仕員養成講座 修了者 入門編 17名
 宿毛市手話奉仕員養成講座 修了者 入門編 25名
 土佐市手話奉仕員養成講座 修了者 入門編 9名
 室戸市手話奉仕員養成講座 修了者 入門編 6名

③ 要約筆記者派遣事業

派遣件数73件 派遣人数306名 派遣サークル 「やまもも」他5団体

(3) 研修室使用状況 (932件⇒777件、10,669名⇒8,241名：使用料収入 600円)

①聴覚障害者関連団体 281件、3,417名 ②視覚障害者関連団体 113件、757名

③その他の障害者関連団体 6件、38名

④聴覚障害者情報センター278件 2,846名、⑤その他 99件、1,183名

(4) 行事等活動内容

行事等

12/8 盲学校と合同の地域交流会 (映画の上映、日常生活用具展示等)

研修等

6/14～15	全国聴覚障害者情報提供施設大会 (福島市)	2名
7/18	県職員対応研修 (安芸市)	2名
7/25～27	意思疎通支援担当者研修会	2名
7/25	県職員対応研修 (高知市)	2名
7/27	県職員対応研修 (幡多)	2名
7/28	手話通訳者全国統一試験に係る説明会 (京都市)	1名
9/25	防災についての講演会 (四万十町)	2名
11/29	中国・四国ブロック聴覚障害者情報提供施設会議	2名
1/25～26	全国ろうあ者相談員研修会 (岐阜市)	1名
2/3	聴覚障害者を対象とした防災学習会	約 100名

(5) 課題への対応等

①情報センターのより一層のPRに努めるとともに、利用者ニーズを把握しながら関係団体と連携し、情報提供・コミュニケーション保障・相談及びデイサービス事業に引き続き取り組む。

②聴覚障害者の南海地震などの災害支援及び生活支援対策として、情報センター・市町村 (市町村社会福祉協議会) 等とのネットワーク化によるスカイプ設置促進の要望活動に引き続き取り組む。